

# あだちコミュニティキャンパス構想

—コミュニティキャンパス構想は、学校施設を地域の学びの核となる施設と位置づけ、子どもの教育を軸とした地域の教育力を高めていこうという構想です。—

## 背景

- ・ 少子化が進み、異年齢の子ども同士で遊ぶ機会が減っている。
- ・ 核家族化の進行や共働き家庭の増加により、家族ふれあいの機会が減少している。
- ・ 地域コミュニティが薄れ、地域の子どもと大人が交流する機会が少なくなっている。
- ・ 都市化が進み、子どもたちが安全に且つ安心して遊べる「場」が無くなっている。
- ・ 学力低下、体力低下、など「学校」だけでは対応できない課題が山積している。

## 目標

「地域の子どもを地域で育てる」

コミュニティキャンパス構想では、学校施設を「地域の学びの核」となる施設として位置づけ、子供の教育を軸とした「学校」・「家庭」・「地域」の三位一体の取り組みを実現し、地域全体で子どもの健全育成に係わることのできる仕組みづくりを目指していきます。

## 手法

「(仮称) 総合型地域クラブを創設する」

地域の方が主体的に運営する(仮称)総合型地域クラブの設立・運営を支援します。この地域クラブでは、子どもの健全育成を目標に地域の子どもから大人まで、スポーツから文化、放課後の学習支援居場所づくり支援まで、まさに総合的な地域交流のクラブづくりを想定しています。

☆ スポーツ中心のクラブ⇒スポーツ・文化・子どもへの学習等支援のクラブへ  
 ☆ おとな中心のクラブ⇒子どもからお年寄りまで楽しめるクラブへ

